

◎受験番号を記入してください。↓

受験番号			

平成27年度佐賀県准看護師試験問題

平成28年2月19日（金）

◎指示があるまで開いてはいけません。

[注意事項]

- 1 試験時間は、13時30分～16時00分です。
- 2 答えはすべて解答用紙（別紙）に明瞭に記入すること。
- 3 解答用紙の「受験番号」欄には受験票に記載の番号を記入すること。

識別		試験区分			科目		受験番号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
H	1	0	0	1	0	1				

- 4 解答方法は次のとおりである。
各問題には1から4までの四つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、解答欄に数字で記入すること。

（例）問1 次のうち、日本の首都はどこか。

- 1 東京
- 2 奈良
- 3 長崎
- 4 佐賀

問題 No	1	
column	12	
解答欄	1	

- 5 正解は一つであり、二つ以上記入したものは、その解答を無効とする。
- 6 試験中はすべて係員の指示に従うこと。
- 7 卒業見込証明書（認定見込書）を添付して受験願書を提出した者は、卒業証明書（認定証）を平成28年3月9日（水）（必着）までに佐賀県健康福祉本部医務課看護担当に提出すること。

問1 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 髄膜は、硬膜、クモ膜、軟膜の3層からなる。
- 2 大脳基底核の代表的病変には、パーキンソン病がある。
- 3 脊髄神経は、全部で31対ある。
- 4 滑車神経は、表情筋に分布する。

問2 次のうち、正しいのはどれか。

- 1 瞳孔括約筋が収縮すると、瞳孔は大きくなる。
- 2 内耳は、鼓膜、鼓室、耳管からなる。
- 3 平衡感覚の受容器は、内耳にある。
- 4 水晶体は、虹彩のすぐ前にある。

問3 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 神経細胞（ニューロン）は、刺激を伝導する。
- 2 成人の脊髄の長さは、40～50 cmである。
- 3 副交感神経系の中樞は、胸髄と腰髄にある。
- 4 膝蓋腱反射は、運動系の検査として重要である。

問4 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 赤血球は、酸素や二酸化炭素を運搬するヘモグロビン（Hb）を含んでいる。
- 2 血小板の主な働きは、血液凝固作用である。
- 3 血漿中には、アルブミンやグロブリンなどのたんぱく質が含まれる。
- 4 適合していない血液を輸血すると、血小板が凝集する。

問5 次のうち、正しいのはどれか。

- 1 門脈は、腹部内臓の血液を集めて心臓に運ぶ静脈である。
- 2 動脈は、内膜と外膜の2層からなる。
- 3 人体の血液循環には、全身に血液を送る肺循環がある。
- 4 静脈の半月状の弁は、血液の逆流を防ぐ。

問6 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 心臓に分布する交感神経は、拍動を抑制する。
- 2 冠状動脈は、心臓に栄養を与えている。
- 3 心電図のP波は、心房筋の興奮を表している。
- 4 収縮期血圧（最高血圧）は、立位<座位<臥位の順に高くなる。

問7 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 食道には、生理的狭窄部が3か所ある。
- 2 胆汁は、肝臓から分泌され、胆嚢に蓄えられる。
- 3 大腸は、結腸と直腸の2つの部位に分けられる。
- 4 膵臓のランゲルハンス島のα細胞からは、グルカゴンが分泌される。

問8 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 膵臓は、膵頭、膵体、膵尾の3つに区分される。
- 2 汗の成分には、水以外に塩化ナトリウム (NaCl) や尿素などが含まれる。
- 3 肝臓は、腹腔の左上部を占めている。
- 4 胃から十二指腸に移行する部分を、幽門という。

問9 次のうち、正しいのはどれか。

- 1 副甲状腺ホルモンは、基礎代謝率を亢進させる。
- 2 副甲状腺は、頸部の喉頭前面に位置する蝶形の内分泌器官である。
- 3 下垂体ホルモンのプロラクチン (PRL) は、乳汁を分泌させる。
- 4 脳下垂体 (下垂体) は、小脳の下に位置する内分泌器官である。

問10 代謝について、誤っているのはどれか。

- 1 糖質は、唾液や膵液中のアミラーゼによって分解される。
- 2 脂質は、消化液中のリパーゼによって脂肪酸とグリセロールに分解される。
- 3 たんぱく質は、大腸で分解される。
- 4 多くのビタミンは、補酵素としての働きがある。

問11 食事療法について、誤っているのはどれか。

- 1 妊娠高血圧症候群患者では、1日の塩分量を7～8g程度とする。
- 2 うっ血性心不全患者では、エネルギーの制限が必要である。
- 3 血液透析患者では、カリウムの制限が必要である。
- 4 鉄欠乏性貧血患者では、ビタミンCと一緒に摂取すると、鉄の吸収効率が下がる。

問12 経管栄養施行時の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 自然落下で調整が難しい場合は、ポンプなどを利用する。
- 2 経腸栄養製品は、注入する直前に冷蔵庫から取り出して使用する。
- 3 注入速度は、腹部症状を確認しながら調整する。
- 4 誤嚥性肺炎に注意する。

問 13 次のうち、胃・十二指腸潰瘍治療薬でないのはどれか。

- 1 シメチジン
- 2 オメプラゾール
- 3 ファモチジン
- 4 フロセミド

問 14 抗うつ薬の組合せのうち、誤っているのはどれか。

- 1 三環系抗うつ薬 _____ イミプラミン
- 2 四環系抗うつ薬 _____ ミアンセリン
- 3 選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI) _____ アミトリプチリン
- 4 セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬 (SNRI) — ミルナシプラン

問 15 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 経口与薬は、最も多く用いられる方法である。
- 2 静脈内注射は、注射の中で、最も速く効果が現れる。
- 3 舌下投与ぜっかされた薬剤は、口腔粘膜から吸収される。
- 4 直腸内投与された薬剤は、肝臓での初回通過効果を受ける。

問 16 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 炎症の5徴候は、発赤ほっせき、腫脹しゅちやう、発熱、疼痛とうつう、機能障害である。
- 2 脂肪細胞は、炎症がおきると局所に浸潤する。
- 3 炎症が広範囲に及んだ場合は、肉芽組織形成にくげと癬痕治癒はんこんの経過をとる。
- 4 肉芽腫性炎をおこす疾患には、梅毒がある。

問 17 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 良性腫瘍は、浸潤性増殖により大きくなる。
- 2 悪性腫瘍は、細胞の異型性が高度である。
- 3 上皮性悪性腫瘍をがん腫という。
- 4 腹腔内の腫瘍の転移には、シュニツラー転移がある。

問 18 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 間質性肺炎の主病変は、肺胞壁にある。
- 2 慢性閉塞性肺疾患は、肺機能検査での1秒率が上昇する。
- 3 胸膜(悪性)中皮腫は、石綿(アスベスト)の曝露と強い関連がある。
- 4 多数の結核結節巣が発生した場合を、粟粒結核ぞくりゅうという。

問 19 次のうち、正しいのはどれか。

- 1 先天性心疾患には、心筋炎や心筋梗塞がある。
- 2 ファロー四徴症とは、肺動脈狭窄、心室中隔欠損、大動脈騎乗、右心室肥大が合併したものである。
- 3 細菌性（感染性）心内膜炎の多くは、インフルエンザ菌や腸球菌の感染による。
- 4 肥大型心筋症は、突然死の頻度が低い。

問 20 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 クッシング病は、副腎皮質刺激ホルモンの産生が低下する疾患である。
- 2 バセドウ病は、甲状腺ホルモンが過剰に産生される疾患である。
- 3 副腎髄質は、カテコールアミンを産生する。
- 4 抗利尿ホルモンは、下垂体後葉から分泌される。

問 21 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 硬膜下血腫は、頭蓋骨と硬膜の間にできた血腫である。
- 2 骨腫瘍などの骨の病気が原因でおこる骨折を、病的骨折という。
- 3 アルツハイマー病は、大脳の神経細胞の変性によっておこる。
- 4 前立腺がんは、骨転移することが多い。

問 22 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 重症急性呼吸器症候群（SARS）は、新興感染症に分類される。
- 2 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症は、再興感染症に分類される。
- 3 不顕性感染は、感染を受けても発病しない状態をいう。
- 4 受動免疫は、抗原を投与することによって獲得される。

問 23 次の組合せについて、誤っているのはどれか。

- 1 ノロウイルス感染症 ————— 接触感染
- 2 麻疹 ————— 空気感染
- 3 百日咳 ————— 飛沫感染
- 4 マイコプラズマ肺炎 ————— 空気感染

問 24 次のうち、正しいのはどれか。

- 1 消毒は、対象物内のすべての微生物を死滅させることである。
- 2 高圧蒸気滅菌法は、芽胞に有効である。
- 3 ポビドンヨードは、医療器具の消毒に使用する。
- 4 逆性石けん（陽性石けん）類は、結核菌やウイルスに有効である。

問 25 次のうち、ヘルシンキ宣言で提唱されたのはどれか。

- 1 パターナリズム
- 2 リビングウィル
- 3 ノーマライゼーション
- 4 インフォームドコンセント

問 26 看護者の倫理綱領（2003年、日本看護協会）について、誤っているのはどれか。

- 1 あらゆる場で実践を行う看護者を対象とした行動指針である。
- 2 看護者は、守秘義務を遵守し、個人情報の保護に努めるとともに、これを他者と共有してはならない。
- 3 看護者は、個人の責任として、継続学習による能力の維持・開発に努める。
- 4 看護者は、より質の高い看護を行うために、看護者自身の心身の健康の保持増進に努める。

問 27 面接技術について、適切でないのはどれか。

- 1 情報収集は、焦点を絞りながら進めていく。
- 2 患者の話は、相づちを打ちながら聴く。
- 3 時間にゆとりを持ち、急がせない。
- 4 表情や行動にとらわれることなく、話された内容を重視する。

問 28 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 ストレスは、フロイトによって提唱された概念である。
- 2 人はストレスにさらされたとき、何らかの対処行動（コーピング）をとる。
- 3 ストレスは、人間が生きていく上で必要な要素である。
- 4 同じストレスでも、感じるストレスの強さは個々人で異なる。

問 29 次のうち、フィンクの危機モデルにおける第3段階はどれか。

- 1 適応
- 2 承認
- 3 衝撃
- 4 防衛的退行

問 30 わが国の2012年の保健衛生統計について、誤っているのはどれか。

- 1 老年人口割合は、年々増加している。
- 2 合計特殊出生率は、1.5を下回っている。
- 3 死因の第1位は、心疾患である。
- 4 0歳の平均余命は、男性よりも女性のほうが長い。

問 31 心疾患の原因として、誤っているのはどれか。

- 1 高齢
- 2 遺伝的素質
- 3 やせ
- 4 たばこの過剰摂取

問 32 次の組合せのうち、誤っているのはどれか。

- 1 介護給付 ————— 健康保険法
- 2 国民健康・栄養調査 —— 健康増進法
- 3 結核の届出 ————— 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
- 4 人工妊娠中絶 ————— 母体保護法

問 33 次のうち、労働基準法で定められていないのはどれか。

- 1 労働者は、その養育する1歳に満たない子について、育児休業をすることができる。
- 2 労働時間が8時間を超える場合には、少なくとも1時間の休憩時間を労働時間中に与えなければならない。
- 3 妊産婦は、重量物を取り扱う業務に就かせてはならない。
- 4 生理日の就業が著しく困難な女性が休暇を請求したときは、就業させてはならない。

問 34 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 患者の苦痛や不安は、病気だけでなく検査や治療でもおこる。
- 2 病者役割には、「早くよくなるための努力をすること」がある。
- 3 患者を理解するためには、身体的側面と精神的側面を別々に捉える必要がある。
- 4 発達とは、加齢に伴う機能の変化の過程をいう。

問 35 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 リハビリテーション看護は、健康の段階や障害のレベルに応じて進める。
- 2 訪問看護の対象は、在宅療養中の高齢者に限定される。
- 3 継続看護は、その人にとって必要なケアを、必要なときに、必要な場所で、適切な人によって受けるシステムである。
- 4 集団検診や人間ドックは、疾病予防の第2次予防に含まれる。

問 36 次の組合せのうち、正しいのはどれか。

- 1 ナイチンゲール ————— 看護の理論化
- 2 ヘンダーソン ————— 人間対人間の看護
- 3 ペプロウ ————— 人間関係の看護論
- 4 アブデラ ————— 臨床看護の本質

問 37 インフォームドコンセントについて、正しいのはどれか。

- 1 説明は、医師のみが行う。
- 2 医療を提供する側の義務である。
- 3 患者が説明を受けることで成立する。
- 4 治療方法は、医師が決定する。

問 38 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 医療過誤とは、避けることのできない偶発的な医療事故である。
- 2 相対的医行為とは、医師の指示により看護職が実施できる医行為である。
- 3 ヒヤリハット体験を記録することは、医療事故を防ぐために重要である。
- 4 医療事故には、医療機関のシステムを動かす「組織」の欠陥によるものがある。

問 39 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 健康に過ごしている人は、看護の対象にはならない。
- 2 看護は、患者と看護師が影響し合う相互作用の過程である。
- 3 アドボカシーとは、患者の権利を擁護することをいう。
- 4 看護の1つに、平和な死への援助がある。

問 40 発熱とその看護について、適切でないのはどれか。

- 1 体温調節中枢の調節レベルが、高温に設定されることで発熱する。
- 2 悪寒戦慄おかんせんりつは、体熱の放散を促進させるためにおこる。
- 3 脱水になりやすいため、水分補給を促す。
- 4 発汗の状態に合わせて、身体の清潔を保つ。

問 41 終末期について、適切でないのはどれか。

- 1 患者は、全人的な苦痛によって、日常生活行動に支障をきたす。
- 2 キューブラー＝ロスキューブラー＝ロスは、死にゆく人の心理状態を5段階で示した。
- 3 患者や家族の不安の1つとして、経済的な問題がある。
- 4 家族の予期的悲嘆への援助は、死別後の死の受容を遅延させる。

問 42 痛みについて、誤っているのはどれか。

- 1 末梢神経先端のセンサーから脊髄神経を通過して、脳で認識される。
- 2 刺激がないのに痛みを感じるという現象がある。
- 3 炎症を伴う急性の痛みは、温めると軽減する。
- 4 がん性疼痛には、モルヒネなどの麻薬が用いられることが多い。

問 43 ショックの症状について、誤っているのはどれか。

- 1 頻脈
- 2 血圧低下
- 3 呼吸促迫
- 4 尿量増加

問 44 薬剤投与時に確認する「5つの“R”」について、誤っているのはどれか。

- 1 正しい患者
- 2 正しい方法
- 3 正しい時間
- 4 正しい説明

問 45 輸液の目的について、誤っているのはどれか。

- 1 電解質の補給
- 2 血球成分の維持・回復
- 3 栄養素の補給
- 4 薬剤投与

問 46 退院指導について、適切な組合せはどれか。

- a 患者や家族に対して実施する。
- b 退院が決定したら開始する。
- c 疾患や症状ごとに統一された内容で実施する。
- d 在宅で、治療や看護が継続できるよう支援する。

- 1 a と b 2 b と c 3 c と d 4 a と d

問 47 手術後の看護について、適切なのはどれか。

- 1 悪心がある場合は、顔を上に向ける。
- 2 呼吸器合併症の予防のために、積極的に体位変換を行う。
- 3 疼痛があるときは、できるだけ我慢させる。
- 4 患者が床上安静を希望する間は、離床を促さない。

次の事例を読み、問 48 に答えよ。

50 歳男性。脳梗塞で入院治療中。右片麻痺と嚥下障害、視野障害がある。本日から食事が開始された。

問 48 この患者の食事介助について、適切でないのはどれか。

- 1 患者の右側から介助する。
- 2 内容がわかるように、食事を見せながら説明する。
- 3 上半身を起こした体位にする。
- 4 食事は、ゆっくりと少しずつ口へ運ぶ。

問 49 口腔ケアについて、適切なのはどれか。

- 1 義歯は、24 時間装着するよう指導する。
- 2 介助する場合は、ディスポーザブル手袋を装着する。
- 3 総義歯の場合は、義歯の洗浄のみでよい。
- 4 綿棒を使う場合は、水分を十分に含ませて行う。

問 50 車椅子による移送について、適切なのはどれか。

- 1 エレベーターを利用するときは、エレベーターの中で方向転換する。
- 2 保温や羞恥心に配慮し、毛布やひざ掛けなどを用意する。
- 3 下り坂では、前向きに進める。
- 4 段差は、勢いをつけて乗り越える。

問 51 入浴の援助について、適切でないのはどれか。

- 1 入浴前後は、バイタルサインを確認する。
- 2 脱衣所や浴室をあらかじめ温めておく。
- 3 食直後の入浴を促す。
- 4 入浴後は安静にさせ、水分補給を促す。

問 52 ベッドメイキングについて、適切でないのはどれか。

- 1 オープンベッドは、入院に備えて準備されたベッドである。
- 2 作業中、作業後は換気を十分に行う。
- 3 ボディメカニクスを活用して、安定した姿勢で行う。
- 4 シーツの中央線は、マットレスの中央線に合わせる。

問 53 右片麻痺患者の寝衣交換について、適切なのはどれか。

- 1 左から脱がせ、右から着せる。
- 2 左から脱がせ、左から着せる。
- 3 右から脱がせ、左から着せる。
- 4 右から脱がせ、右から着せる。

問 54 ジャパン・コマ・スケール（3－3－9度方式）で、意識レベルⅡ－30の状態はどれか。

- 1 見当識障害がある。
- 2 痛み刺激に対し、払いのける動作をする。
- 3 痛み刺激を加え、呼びかけを繰り返すとかろうじて開眼する。
- 4 痛み刺激に反応しない。

問 55 次の組合せのうち、誤っているのはどれか。

- 1 看護サマリー ————— ケアの継続性
- 2 フォーカスチャータリング ————— 患者の反応・状態
- 3 POS ————— 問題志向型
- 4 クリティカルパス ————— 個別的看護計画

問 56 コミュニケーションについて、適切なのはどれか。

- 1 傾聴とは、一方的に受け身の姿勢で相手の話を聞くことである。
- 2 話をするときには、場所も大切な要素となる。
- 3 非言語的コミュニケーションよりも、話し言葉や書き言葉によるものが多く用いられる。
- 4 患者に圧迫感を与えないよう 150 cm以上の距離を保つ。

問 57 血圧測定について、誤っているのはどれか。

- 1 血圧に影響する因子には、心拍出量や動脈壁の弾性などがある。
- 2 血圧測定には、聴診器の膜型が適している。
- 3 収縮期血圧より 20mmHg 程度高い値まで加圧する。
- 4 触診法では、拡張期血圧を測定する。

問 58 導尿について、誤っているのはどれか。

- 1 体位は、仰臥位で行う。
- 2 女性の尿道口の消毒は、尿道口から肛門側に向けて行う。
- 3 成人男性の場合は、カテーテルを約 20 cm挿入する。
- 4 成人女性の場合は、カテーテルを約 10 cm挿入する。

問 59 胃洗浄について、誤っているのはどれか。

- 1 義歯は、はずさなくてもよい。
- 2 洗浄液の1回量は、成人の場合、400～500mLである。
- 3 体位は、左側臥位にする。
- 4 挿入する胃管の長さは、成人の場合、45～50 cmである。

問 60 穿刺の組合せについて、誤っているのはどれか。

- 1 骨髄穿刺 _____ 腰椎棘突起
- 2 胸腔穿刺 _____ ヤコビー線
- 3 腰椎穿刺 _____ クモ膜下腔
- 4 腹腔穿刺 _____ モンロー-リヒター線

問 61 酸素吸入について、正しいのはどれか。

- 1 酸素欠乏時の症状の1つに頻脈がある。
- 2 酸素は、常温では空気より軽い。
- 3 酸素流量計の流量を調整後、ポンベのバルブを全開にする。
- 4 酸素ポンベは、空になってから交換する。

問 62 浣腸について、適切でないのはどれか。

- 1 浣腸液注入後、3～5分経過して、排便を促す。
- 2 成人の場合は、カテーテルを10 cm挿入する。
- 3 浣腸液の温度は、40～41℃にする。
- 4 嘔吐や嘔気、激しい腹痛がある患者には、禁忌である。

問 63 腹囲測定について、適切でないのはどれか。

- 1 メタボリックシンドロームの診断基準の1つである。
- 2 立位の場合は、臍の位置で床と水平に巻尺を巻く。
- 3 仰臥位の場合は、膝を立てた楽な姿勢で測る。
- 4 変動を知る場合は、食事や排泄などの条件を一定にして測る。

問 64 包帯法について、適切でないのはどれか。

- 1 足関節や肩関節には、^{ぼくすい}麦穂帯を用いる。
- 2 ^{かんじく}巻軸帯の巻き始めと終わりには、^{らせん}螺旋帯を用いる。
- 3 ガーゼや副子を固定するには、^{だこう}蛇行帯を用いる。
- 4 上下肢では、末梢から中枢に向かって巻く。

問 65 坐薬について、適切でないのはどれか。

- 1 坐薬は、冷暗所または冷蔵庫に保管する。
- 2 挿入時の患者の体位は、側臥位にする。
- 3 挿入の深さは、肛門括約筋の手前までとする。
- 4 挿入時は、患者に軽く口を開けて呼吸をするよう説明する。

問 66 室内環境について、誤っているのはどれか。

- 1 生理的努力が最も少ない環境温度を、感覚温度という。
- 2 冷房時は、外気温と室内温度の差が5℃以上にならないように注意する。
- 3 不快指数において、日本人が不快と感じ始める指数は70以上である。
- 4 暖房時は、湿度の低下や結露への対策が必要である。

問 67 スタンダードプリコーション（標準予防策）の適用として、適切でないのはどれか。

- 1 血液
- 2 排泄物
- 3 汗
- 4 損傷した皮膚

問 68 感染の予防について、適切でないのはどれか。

- 1 滅菌バッグを開くときは、有効期限を確かめる。
- 2 鑷子で消毒薬に浸した綿球を持つ場合は、先端を水平より高く保持する。
- 3 飛沫感染の場合、患者は個室隔離とする。
- 4 免疫力を高めるには、たんぱく質やビタミン、ミネラルを含む食事にする。

問 69 災害時のトリアージ・タグの組合せのうち、正しいのはどれか。

- 1 最優先治療群（重症群） _____ 識別色 緑
- 2 待機的治療群（中等症群） _____ 識別色 黄
- 3 保留群（軽症群） _____ 識別色 黒
- 4 死亡群 _____ 識別色 赤

問 70 身体計測について、正しい組合せはどれか。

- a 身長の日差は、0.5～1.5cmといわれている。
- b BMIの算出方法は、体重(kg) / 身長(cm)²である。
- c 握力は、複数回測定し平均値をとる。
- d 肺活量は、胸郭の運動機能を知る目安になる。

- 1 aとb
- 2 bとc
- 3 cとd
- 4 aとd

問 71 検査とその介助について、適切なのはどれか。

- 1 尿検査において、蓄尿の場合は尿を攪拌しない。
- 2 試験紙法による尿検査は、検尿コップに1分前後試験紙を浸す。
- 3 造影検査後は、造影剤の排泄を促すため水分を多く摂らせる。
- 4 上部消化管内視鏡検査後は、誤嚥を予防するため6時間飲食を控える。

問 72 与薬について、適切でないのはどれか。

- 1 薬物を取り扱うときは、衛生的手洗いを実施する。
- 2 指示内容は、2人以上で確認する。
- 3 薬剤・薬液ラベルと指示箋は、最低2回確認する。
- 4 準備と与薬は、同一の看護師が行う。

問 73 経口的与薬法について、誤っているのはどれか。

- 1 食前薬は、必ず食事直前に服用する。
- 2 食後薬は、食事直後と食後30分に服用するものがある。
- 3 就寝時薬には、睡眠薬（催眠薬）や下剤などがある。
- 4 時間薬は、血中薬物濃度を一定に保って作用させたい場合に用いる。

問 74 注射法について、誤っているのはどれか。

- 1 皮内注射の注射部位には、前腕内側がある。
- 2 皮下注射の注射部位には、上腕後面がある。
- 3 筋肉内注射の場合、針の刺入角度は45～90度である。
- 4 筋肉内注射を殿部に行う場合は、大殿筋を選択する。

問 75 輸血について、誤っているのはどれか。

- 1 全血製剤は、凍結して保存する。
- 2 交差適合試験には、主試験と副試験がある。
- 3 急速大量輸血時は、加温器を用いる。
- 4 副作用には、発疹やそう痒感がある。

問 76 中心静脈栄養法による持続点滴中の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 床上安静が必要であることを説明する。
- 2 輸液剤の調剤は、無菌操作で行う。
- 3 経口的な食事をしない場合も、口腔ケアは実施する。
- 4 患者の全身状態を観察する。

問 77 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 「健康日本 21」の目的は、がん対策を総合的かつ計画的に推進することである。
- 2 健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことである。
- 3 生活習慣病とは、生活習慣が健康に関与する疾患群をいう。
- 4 ハヴィガーストの壮年期の発達課題には、「市民的・社会的責任を果たすこと」がある。

問 78 次の組合せのうち、正しいのはどれか。

- 1 パルスオキシメータ _____ 酸素飽和度測定
- 2 PET _____ 経気管支肺生検
- 3 CT _____ 磁場画像検査
- 4 スパイロメータ _____ 動脈血ガス測定

問 79 人工呼吸器装着とその患者の看護について、適切な組合せはどれか。

- a コミュニケーションは、筆談などで行う。
- b 気管内吸引は、1分以上かけて丁寧に行う。
- c ウィーニングの開始は、家族の希望を取り入れる。
- d 呼吸回数が、毎分5回未満の場合は適応となる。

- 1 a と b
- 2 b と c
- 3 c と d
- 4 a と d

問 80 呼吸器疾患患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 慢性閉塞性肺疾患患者の主な生活指導は、禁煙である。
- 2 肺切除術後は、呼吸状態やドレーンの排液の性状などを観察する。
- 3 気管支喘息患者の寝具は、羽布団をすすめる。
- 4 酸素療法を行っている場合は、CO₂ナルコーシスの出現に注意する。

問 81 左心不全の主な症状として、正しいのはどれか。

- 1 血痰
- 2 頸静脈怒張
- 3 浮腫
- 4 腹水

問 82 次の組合せのうち、誤っているのはどれか。

- 1 ニトログリセリン _____ 冠動脈拡張薬
- 2 ジギタリス _____ 強心薬
- 3 カルシウム拮抗薬 _____ 昇圧薬
- 4 ワルファリン _____ 抗凝固薬

次の事例を読み、問 83 に答えよ。

65 歳女性。激しい胸痛が 15 分程度続き、娘に付添われ救急搬送された。心筋梗塞が疑われ、心臓カテーテル検査が行われることとなった。患者は、不安と恐怖を訴えている。

問 83 この患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 検査の目的や方法について、本人と娘に説明する。
- 2 検査中は、不安をあおらないよう黙って見守る。
- 3 検査中は、モニターや患者の観察を行う。
- 4 検査後は、出血予防のため床上安静とするよう説明する。

問 84 痔核の好発部位（体の前面を 12 時として時計まわり方向で表示）について、正しいのはどれか。

- 1 1 時・4 時・8 時の位置
- 2 2 時・6 時・10 時の位置
- 3 3 時・7 時・11 時の位置
- 4 4 時・9 時・12 時の位置

問 85 人工肛門造設患者への退院指導について、適切でないのはどれか。

- 1 規則正しくバランスのよい食事を摂る。
- 2 腹圧がかかるような運動は避ける。
- 3 旅行などの外出を控える。
- 4 入浴は制限しない。

問 86 非代償期の肝硬変患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 排便のコントロールを行う。
- 2 高たんぱく食とする。
- 3 塩分の制限を行う。
- 4 安楽な体位の保持に努める。

問 87 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 血液量は、体重の約 8 % を占める。
- 2 リンパ球は、^{どんしよく} 貪食作用をもっている。
- 3 赤血球の寿命は、約 120 日である。
- 4 T 細胞は、リンパ球の 1 つである。

問 88 次の組合せのうち、誤っているのはどれか。

- 1 バセドウ病（グレーブス病） ————— 頻脈
- 2 副甲状腺機能低下症 ————— 高カルシウム血症
- 3 インスリノーマ ————— 低血糖
- 4 原発性アルドステロン症 ————— 高血圧

問 89 貧血症状について、誤っているのはどれか。

- 1 めまい
- 2 粘膜の充血
- 3 動悸^{どうき}
- 4 浮腫

問 90 糖尿病患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 経口血糖降下薬使用時には、低血糖症状に注意する。
- 2 食事療法の基本は、エネルギー摂取量をできるだけ減らすことである。
- 3 運動療法では、有酸素運動が有効である。
- 4 足のケアでは、深爪をしないよう注意する。

問 91 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 過活動膀胱は、尿意切迫感を伴う頻尿がある。
- 2 精巣水腫の根本的治療は、囊膜（鞘膜^{しやうまく}）の切除である。
- 3 膀胱がんの治療の1つに、経尿道的切除術がある。
- 4 15mm までの尿路結石は、自然排出される。

問 92 腎盂腎炎患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 安静を保ち、保温に努める。
- 2 自己判断で治療を中断しないよう指導する。
- 3 水分摂取の制限を行う。
- 4 排尿状態を観察する。

問 93 パーキンソン病について、誤っているのはどれか。

- 1 運動時の振戦で、初発することが多い。
- 2 発症年齢は、50～70 歳に多い。
- 3 小刻み歩行や仮面様顔貌などの症状がみられる。
- 4 CTやMRIなどの検査は、ほぼ正常である。

問 94 頭蓋内圧亢進症状のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 血圧の変動に注意する。
- 2 瞳孔の異常に注意する。
- 3 頭部を水平に保つ。
- 4 排便の調整を行う。

問 95 次のうち、I 型アレルギーに関与する免疫グロブリンはどれか。

- 1 IgG
- 2 IgA
- 3 IgM
- 4 IgE

問 96 次のうち、蝶形紅斑を特徴とする疾患はどれか。

- 1 関節リウマチ
- 2 全身性エリテマトーデス (SLE)
- 3 多発性動脈炎 (結節性動脈周囲炎)
- 4 シェーグレン症候群

問 97 ワクチンについて、誤っているのはどれか。

- 1 生ワクチンは、感染力を弱めた生きた病原体を免疫原としている。
- 2 定期予防接種において、ポリオワクチンは不活化ワクチンを使用している。
- 3 風疹ワクチンは、妊婦で風疹抗体が陰性の場合、接種をすすめる。
- 4 トキソイドは、毒素を無毒化したワクチンである。

問 98 わが国における結核について、正しいのはどれか。

- 1 先進国の中で、罹患率が比較的高い国の 1 つである。
- 2 多剤耐性結核菌は出現していない。
- 3 院内感染は発生していない。
- 4 5 類感染症である。

問 99 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 カンピロバクターは、食中毒をおこす原因の 1 つである。
- 2 水痘では、コプリック斑がみられることがある。
- 3 髄膜炎では、項部硬直がみられることがある。
- 4 敗血症では、血圧低下がみられることがある。

問 100 卵巣から分泌される女性ホルモンについて、正しい組合せはどれか。

- a 卵胞刺激ホルモン (F S H)
- b 卵胞ホルモン (エストロゲン)
- c 黄体ホルモン (プロゲステロン)
- d オキシトシン

1 a と b 2 b と c 3 c と d 4 a と d

問 101 次の組合せのうち、誤っているのはどれか。

- 1 機能性子宮出血 _____ 女性ホルモンの異常
- 2 子宮卵管造影法 _____ 月経直前検査
- 3 腹圧性尿失禁 _____ 骨盤底筋訓練
- 4 産婦人科診察 _____ 碎石 (截石) 位

問 102 次の組合せのうち、正しいのはどれか。

- 1 尺骨神経損傷 _____ 猿手
- 2 正中神経損傷 _____ 下垂手
- 3 橈骨神経損傷 _____ わし手
- 4 腓骨神経損傷 _____ 下垂足

問 103 先天性股関節脱臼について、誤っているのはどれか。

- 1 関節の形成不全である。
- 2 幼児期は無痛である。
- 3 関節包内脱臼である。
- 4 男児に多い。

問 104 四肢ギプス固定時の看護について、適切な組合せはどれか。

- a ギプスが直接皮膚に触れると、表皮剝離をおこすことがある。
- b シャワー浴は、ギプスが取れるまで行わない。
- c 運動は行わないよう指導する。
- d 安静時は、できるだけ患肢を挙上する。

1 a と b 2 b と c 3 c と d 4 a と d

問 105 そう痒のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 肌着は木綿をすすめる。
- 2 爪は短く切るよう指導する。
- 3 アルコール飲料や香辛料・甘味料は控える。
- 4 部屋の温度・湿度を調節し、皮膚の乾燥に努める。

問 106 帯状疱疹患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 髄膜炎の予防に努める。
- 2 痛みに伴う精神状態などを観察する。
- 3 他患者との接触を避ける必要はない。
- 4 治療には、抗ウイルス薬が使われる。

問 107 眼科における検査について、正しいのはどれか。

- 1 視力検査は、視力表から 8 m の距離で行う。
- 2 視野検査は、正面を固視した状態で測定する。
- 3 眼圧検査における正常眼圧は、40～50mmHg である。
- 4 眼底検査は、瞳孔を縮瞳させて行う。

問 108 眼疾患患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 緑内障の発作時は、眼痛や頭痛、悪心などの症状を観察する。
- 2 眼打撲の場合は、冷罨法^{あんぼう}を行う。
- 3 流行性角結膜炎の場合は、感染防止対策を行う。
- 4 異物混入時の洗眼は、冷やした洗眼液を使用する。

問 109 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 鼻出血は、キーゼルバッハ部位に多い。
- 2 急性副鼻腔炎の治療に、プレッツ置換法がある。
- 3 外鼻の骨折の症状には、斜鼻^{しゃび}や鞍鼻^{あんび}がある。
- 4 副鼻腔粘液嚢胞は、上顎洞におこることが多い。

問 110 咽喉頭疾患患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 急性喉頭蓋炎で含み声の症状がみられたら、排膿の準備をする。
- 2 扁桃炎では、発熱や咽頭痛などの有無を観察する。
- 3 嗄声^{させい}があるときは、発声の制限や禁煙について説明する。
- 4 喉頭全摘出術後の患者には、患者会などを紹介する。

問 111 次のうち、小唾液腺はどれか。

- 1 耳下腺
- 2 口唇腺
- 3 顎下腺
- 4 舌下腺

問 112 口腔外科治療後の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 強い^{がんそう}含嗽は控えるよう指導する。
- 2 抜歯当日の飲酒について、制限する必要はないと説明する。
- 3 食事は、やわらかく調理して摂取するよう説明する。
- 4 出血量は、唾液により多く見えることを説明する。

問 113 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 わが国では高齢者の人口比率が7%を超えると、高齢化社会という。
- 2 わが国では高齢者の人口比率が14%を超えると、超高齢社会という。
- 3 わが国では65歳以上75歳未満の者を、前期高齢者という。
- 4 わが国は、世界有数の長寿国となっている。

問 114 介護老人保健施設について、誤っているのはどれか。

- 1 施設を利用するためには、要介護認定が必要である。
- 2 在宅復帰を目的とした施設である。
- 3 介護サービスの種類は、居宅サービスである。
- 4 医師・看護師・理学療法士など様々な職種のチームでケアを実施する。

問 115 高齢者の近年の動向について、誤っているのはどれか。

- 1 2人に1人は、有訴者である。
- 2 入院受療率は、呼吸器系が最も高い。
- 3 入院受療率は、年齢が高くなるにつれて増加する。
- 4 全世帯に占める単独および夫婦のみの高齢者世帯の割合は、5割以上である。

問 116 地域包括支援センターについて、正しいのはどれか。

- 1 設置基準は、1小学校区につき1か所である。
- 2 運営主体は、都道府県である。
- 3 事業内容には、総合相談や権利擁護などがある。
- 4 職員配置基準は、医師と社会福祉士である。

問 117 高齢者の加齢に伴う変化について、正しいのはどれか。

- 1 収縮期血圧の低下
- 2 消化液の分泌亢進
- 3 エストロゲンの分泌亢進
- 4 糸球体濾過値^{ろか}の低下

問 118 薬物療法を受ける高齢者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 副作用の出現が明瞭である。
- 2 包装されたまま内服することがあるため、状況に応じて取り除いておく。
- 3 患者だけでなく、家族にも服用方法を説明する。
- 4 誤嚥しないように工夫する。

問 119 手術を受ける高齢者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 不安を表現しない場合があるため、十分に観察する。
- 2 手術前の浣腸は、ショックをおこすことがあるため注意する。
- 3 呼吸訓練は、手術直後から開始する。
- 4 手術後の創部の処置は、清潔操作を徹底する。

問 120 高齢者の排泄の援助について、適切でないのはどれか。

- 1 ポータブルトイレ使用時は、床が滑らないように滑り止めマットなどを活用する。
- 2 夜間頻尿がある場合は、おむつの使用を基本とする。
- 3 排尿訓練をするときは、排尿時間や尿漏れの有無などを観察する。
- 4 便秘のときは、腹部や腰部を温める。

問 121 認知症の中核症状について、正しいのはどれか。

- 1 記憶障害
- 2 暴力行為
- 3 異食
- 4 妄想

問 122 高齢者への転倒予防の指導について、適切でないのはどれか。

- 1 足の健康を維持するため、フットケアの方法を説明する。
- 2 歩行機能と筋力を維持するため、自宅でも可能な体操をすすめる。
- 3 コード類や床に置いたものなどにつまずかないように、安全対策を指導する。
- 4 室内でのはき物は、着脱しやすいスリッパをすすめる。

問 123 褥瘡について、誤っているのはどれか。

- 1 要因には、皮膚の湿潤や同一部位の長時間圧迫などがある。
- 2 好発部位には、仙骨部・大転子部・腹部などがある。
- 3 発赤など皮膚の変化に注意する。
- 4 客観的評価として、血清アルブミン値が重要である。

問 124 高齢者の脱水について、誤っているのはどれか。

- 1 加齢に伴う細胞内液量の減少は、脱水をおこしやすい原因の1つである。
- 2 症状の1つに、尿量の増加がある。
- 3 重症なものでは、昏睡やショック状態になる場合がある。
- 4 口渇があっても訴えないことが多いため、発見が遅れやすい。

問 125 大腿骨頸部骨折の高齢者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 クッションなどを用い、腓骨神経麻痺の予防を行う。
- 2 人工骨頭置換術の場合は、股関節脱臼をおこさないよう、肢位に注意する。
- 3 手術後は、尿道留置カテーテルの長期留置を避ける。
- 4 手術後3日間は、絶対安静であることを説明する。

問 126 高齢者の清潔について、適切でないのはどれか。

- 1 入浴ができない場合、1日1回は陰部を洗浄する。
- 2 義歯を洗浄するときは、上顎からはずすと操作しやすい。
- 3 口腔清拭では、歯や舌など口腔内全体を拭く。
- 4 拘縮部分や指趾の間は、特に注意して拭く。

問 127 妊娠の生理について、正しいのはどれか。

- 1 妊娠12週未満を胎芽期^{たいが}という。
- 2 ヒトの体細胞の染色体は、23対の常染色体と1対の性染色体から構成される。
- 3 羊水は、羊膜腔を満たす弱アルカリ性の液体である。
- 4 胎児循環では、肺静脈と大動脈をつなぐ動脈管（ボタロー管）がある。

問 128 分娩の生理について、誤っているのはどれか。

- 1 恥骨結合後面と岬角^{こうかく}との最短距離を、産科的真結合線という。
- 2 分娩開始前に破水が生じることを、前期破水という。
- 3 陣痛発作時に膣口から胎児の先進部（児頭）が現れ、間欠時には後退する状態を発露^{はつろ}という。
- 4 分娩機転の第3回旋では、伸展反屈により児頭全体が娩出される。

問 129 次のうち、適切でないのはどれか。

- 1 流産は、妊娠 12 週未満に多い。
- 2 異所性妊娠のうち最も多いのは、卵巣妊娠である。
- 3 妊娠悪阻^{おそ}の場合は、不安感を取り除くような精神面の支援が大切である。
- 4 異所性妊娠の場合は、バイタルサインを観察し、ショック症状に注意する。

問 130 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 胎児機能不全は、胎児心拍数モニターの異常パターンで診断する。
- 2 児頭骨盤不均^{CPD}とは、胎児より産道が狭いために経膈分娩が不可能と判断される場合をいう。
- 3 児の娩出後、直ちに胎盤が娩出されない場合は、用手剥離が行われる。
- 4 羊水塞栓症を発症すると、母体が重篤な状態になることが多い。

問 131 次のうち、正しいのはどれか。

- 1 分娩直後の子宮の重量は約 3 kg である。
- 2 子宮は、産褥 6 週にはほぼ非妊時の大きさとなる。
- 3 マタニティブルーズの発症頻度は、ごくまれである。
- 4 出生届は、市区町村長へ生後 1 か月以内に提出する。

問 132 新生児について、誤っているのはどれか。

- 1 出生体重が 1,000 g 未満の新生児を、極低出生体重児という。
- 2 生後 1 回目の排便は胎便とよばれ、暗緑色である。
- 3 病的な黄疸の治療では、光線療法や交換輸血が行われる。
- 4 新生児メレナの予防には、ビタミン K₂ の予防的投与が行われる。

問 133 医療処置を受ける小児へのプレパレーションについて、適切なのはどれか。

- 1 医療処置を効果的に行うことが目的である。
- 2 動いたり泣いたりしてはいけないと説明する。
- 3 おもちゃなどを使って緊張を和らげる。
- 4 処置が終わった後は、処置のことには触れないようにする。

問 134 子どもが誤飲した時に、吐かせてはいけないのはどれか。

- 1 たばこ
- 2 塩素系漂白剤
- 3 防虫剤
- 4 化粧水

問 135 児童虐待について、誤っているのはどれか。

- 1 ネグレクト(育児放棄)は含まない。
- 2 相談件数は、社会の関心が高くなるにつれ増加傾向にある。
- 3 虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、児童相談所へ通告する。
- 4 虐待をする者は、実の父母が多い。

問 136 小児の与薬について、適切なのはどれか。

- 1 乳児の場合、育児用粉ミルクや食事に薬をまぜる。
- 2 坐薬挿入後は、しばらくの間、肛門部を軽く押さえる。
- 3 水薬は、舌の中央に沿ってゆっくり注入する。
- 4 錠剤は、満1歳になってから服用させる。

問 137 小児期の成長について、正しいのはどれか。

- 1 体重は、1年間で出生時の約2倍となる。
- 2 大泉門は、ほとんどが2歳までに閉鎖する。
- 3 乳歯は、1歳までに20本はえそろう。
- 4 脳の重量は、3～4年で出生時の約2倍となる。

問 138 小児の2型糖尿病について、正しいのはどれか。

- 1 思春期以前では、1型糖尿病よりも患者が多くなっている。
- 2 多飲、多尿などの症状出現により、早期に診断される。
- 3 肥満を伴っている場合が多い。
- 4 生涯にわたりインスリン注射が必要である。

問 139 エリクソンの心理・社会的発達課題について、誤っている組合せはどれか。

- 1 幼児期(初期) _____ 「自律性」対「恥と疑惑」
- 2 学童期(児童期) _____ 「生殖性」対「自己停滞」
- 3 青年期 _____ 「同一性」対「同一性混乱(拡散)」
- 4 成人期前期 _____ 「親密性」対「孤立」

問 140 心理的な防衛機制について、正しい組合せはどれか。

- 1 抑圧 _____ 不満や葛藤を身体症状に置き換えること
- 2 反動形成 _____ 本来の対象に向けるべき感情を別の対象に向けること
- 3 合理化 _____ 現実を直視することを避けて目をつぶること
- 4 昇華 _____ 攻撃性や性衝動をスポーツや勉強に打ち込むことにより緩和すること

問 141 わが国の精神保健福祉の歴史について、誤っているのはどれか。

- 1 「精神衛生法」が成立し、精神障害者の私宅監置の制度が廃止された。
- 2 ライシャワー駐日大使が刺傷された事件を契機に、応急入院制度が設けられた。
- 3 「障害者基本法」により、精神障害者は福祉施策の対象となる障害者として明確に位置づけられた。
- 4 「障害者自立支援法」は、障害者の地域生活と就労をすすめ、自立を支援する観点から制定された。

問 142 精神科入院患者の処遇について、正しいのはどれか。

- 1 閉鎖病棟には、公衆電話を設置しない。
- 2 隔離は、精神保健指定医の判断により行われる。
- 3 入院中は、手紙やはがきなどの発信、受信が制限される。
- 4 患者が自ら希望して保護室に入室する場合、同意書は必要ない。

問 143 障害者総合支援法により提供されるサービスについて、誤っているのはどれか。

- 1 介護給付
- 2 精神障害者保健福祉手帳の交付
- 3 訓練等給付
- 4 地域生活支援事業

問 144 次の組合せのうち、誤っているのはどれか。

- 1 神経症性障害 _____ 自律訓練法
- 2 うつ病 _____ 光刺激療法
- 3 認知症 _____ 電気けいれん療法
- 4 アルコール依存症 _____ 自助グループ活動

問 145 精神科医療について、誤っているのはどれか。

- 1 入院中は、リハビリテーション活動は行われない。
- 2 わが国の精神科病院の病床数は、先進国の中で群を抜いて多い。
- 3 近年、入院治療から地域ケアや外来治療への移行が進められている。
- 4 治療は、薬物療法が大半を占めている。

問 146 次の認知症性疾患のうち、常染色体優性遺伝によるものはどれか。

- 1 レビー小体型認知症
- 2 進行麻痺
- 3 舞踏病（ハンチントン病）
- 4 ピック病

問 147 抗精神病薬の副作用とその症状について、誤っている組合せはどれか。

- 1 悪性症候群 _____ 高熱
- 2 アカシジア _____ 筋硬直
- 3 ジストニア _____ 捻転性の運動
- 4 遅発性ジスキネジア _____ 不随意運動

問 148 妄想状態の患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 妄想については、現実的ではないと否定する。
- 2 患者との信頼関係を築くよう心がける。
- 3 妄想の内容は、事細かに聞き出そうとしない。
- 4 妄想の内容に応じて、安心できる場所、安全な環境を整える。

問 149 認知症患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 自尊心を傷つけないように注意する。
- 2 栄養状態、身体合併症に注意する。
- 3 帰宅要求には、話題を変えてみるなど気分転換を図る。
- 4 物とられ妄想のときは、できるだけ1人にして話しかけない。

次の事例を読み、問 150 に答えよ。

26 歳女性。以前から倦怠感や不眠を訴え仕事を休みがちだった。昨夜、自殺を図ろうとしたため、母親に付添われ、初めて精神科を受診した。診察の結果、うつ病と診断されて入院となった。

問 150 この患者への看護について、適切なのはどれか。

- 1 看護師の訪室は最小限にし、静かに休ませる。
- 2 患者の話をじっくり丁寧に聴く。
- 3 職場復帰が早くできるように励ます。
- 4 本人が望めば、面会は制限されないと説明する。